

整理番号 S-152

出 展 織物欠点解析事例集(第 3 集)

欠 点 名 風合い違い(設計不良)

品 名 ネクタイ地

試料形態 織物

組 織 平(たて 120 本/インチ、よこ 64 本/インチ)

糸 使 い

たて糸:絹(生糸)27 巾 3 本引揃え

よこ糸:絹紡績糸 30 番単糸/ウール 30 番単糸(5/1)

欠点発生状況

よこの毛糸と絹紡糸との隙間がわずかに目立つ。また、毛糸自体の露出が目立ちすぎることも加わって、元サンプルと風合が異なるため、クレームになった。

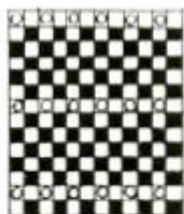
試料写真



試験結果

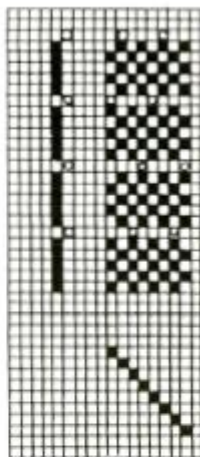
(1)組織確認

欠点サンプルの組織
(裏組織)



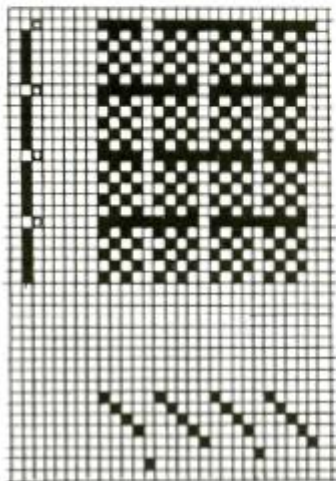
(第1図)

是正した組織
(裏組織)



(第2図)

完全2重組織
(参考)



(第3図)

○ 毛単糸
■ 絹紡単糸

所見

組織杼間とは、組織は正常であるが、よこ糸とよこ糸の隙間が不均一な状態のもので、堅さの異なるよこ糸が配列されたときに平組織において起り易い欠点である。本欠点は、柔らかい絹紡単糸に隣接して堅い毛単糸が打込まれたことによって発生したものである。

防止対策は、第1図の組織を第2図のセミ2重組織に変更する。更に第3図の完全2重組織を採用すれば、高級品化につながる。